

# 第 28 回がん検診のあり方に関する検討会 議事次第

日 時：令和元年 5 月 31 日（金）16：00～18：00

場 所：厚生労働省 18 階 専用第 22 会議室

## 1 開 会

## 2 議 題

- (1) これまでの議論の整理
- (2) がん検診の受診率向上に向けた取組について
- (3) 職域におけるがん検診について
- (4) その他

### 【資 料】

- |          |  |
|----------|--|
| 資料 1     | これまでの議論の整理   |
| 資料 2 - 1 | がん検診受診率向上に向けたこれまでの取組   |
| 資料 2 - 2 | 行動科学やナッジ、ソーシャルマーケティングを活用したがん検診受診勧奨の取り組み（溝田参考人提出資料）                           |
| 資料 2 - 3 | がん検診受診率向上に向けた今後の取組   |
| 資料 3 - 1 | 職域におけるがん検診の課題と今後の方向性   |
| 資料 3 - 2 | 厚生労働科学研究高橋班の研究概要「職域におけるがん検診の実態把握について（中間報告）」（高橋参考人提出資料）                       |
| 資料 3 - 3 | 厚生労働科学研究祖父江班の研究概要「職域がん検診における精度管理指標の測定・基準値設定と新指標測定法の開発・実用化に関する研究」（祖父江構成員提出資料） |
| 参考資料 1   | 「がん検診のあり方に関する検討会」構成員名簿   |
| 参考資料 2   | がん検診のあり方に関する検討会における議論の整理（平成 28 年 11 月）                                       |
| 参考資料 3   | 職域におけるがん検診に関するマニュアル（平成 30 年 3 月）   |
| 参考資料 4   | 健康診査の結果等における最近の動向<br>（第 4 回健康診査等専門員会資料（令和元年 5 月 24 日）（一部抜粋））                 |
| 参考資料 5   | がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針<br>（健発第 0331058 号平成 20 年 3 月 31 日厚生労働省健康局長通知別添）     |

第28回 がん検診のあり方に関する検討会	資料 1
令和元年5月31日	

# これまでの議論の整理

厚生労働省健康局がん・疾病対策課

# 第27回がん検診のあり方に関する検討会における主な議論の整理

## ○ 新たな検査項目を対策型がん検診に導入するにあたっての基本的な考え方について

1. 現在、研究で死亡率減少効果のエビデンスがあることが明らかになった検査については、検査の有効性や安全性に加えて、検査の対象となる集団や年齢、受診間隔、「要精密検査」と判定された場合の運用方法等を明確化した上で、対策型がん検診に導入されている。
2. 新たな検査項目によって「要精密検査」と判定された場合について、プロセスの運用方法が単純で、かつ明確化されていなければ、市町村がん検診として実施することはできないのではないかと。
3. がん検診において、有効性(死亡率減少効果)が明らかではない検査を実施した場合、過剰診断等の不利益が生じる可能性がある。
4. がん検診に関する研究において、有効性(死亡率減少効果)を検証するには長い期間を要するため、新たな検査手法の実用化が遅れてしまうという課題も指摘されている。
5. がん検診の有効性については、諸外国においても、死亡率減少効果の有無に基づいて評価されているものの、死亡率減少効果の代替指標についても検討している国もある。
6. 研究成果をよりスピーディに政策へ反映できるよう、がん種ごとに、死亡率減少効果の代替指標の必要性についても検討してはどうか。
7. 過剰診断等の不利益については長い期間をかけて評価する必要があることから、研究で検査の有効性(死亡率減少効果、あるいはその代替指標)が証明されたからといって、ただちに政策へ反映するのは望ましくないのではないかと。
8. 新たながん種に対するがん検診を政策として実施する場合は、今までと同様に、死亡率減少効果に基づいてがん検診の有効性を評価すべきではないかと。(死亡率減少効果の代替指標でがん検診の有効性を評価することについては、慎重であるべきではないかと。)
9. がん検診の費用対効果に関する分析・評価を行うことも必要ではないかと。

# (参考) 今後の議論の進め方

第26回 がん検診のあり方に関する検討会	資料1 一部改変
平成30年12月20日	

2018年  
5月24日

第24回  
がん検診のあり方に関する検討会

8月3日

第25回  
がん検診のあり方に関する検討会

- がん検診の経緯
- がん検診の利益・不利益(総論)
- がん検診・がん治療の現状について
- 諸外国との比較
- 検査の偶発症

12月20日

第26回  
がん検診のあり方に関する検討会

- 以下の点について、順次議論を進める
- がん検診の精度管理
  - がん検診の種類
  - がん検診の対象者
  - 検診項目
  - 受診率の向上に向けた取組
  - がん検診の利益・不利益 等

複数回  
議論



2019年

議論の取りまとめ

2019年度以降

がん検診指針の見直し